

文学・歴史科 II 年間カリキュラム (平成 30 年 10 月～31 年 9 月)

1/2

※講師や教室の都合などで一部変更することがあります

年	月	日	講 座	テ ー マ	講 師	概 要	
30	10	17	開 講 式	記念講演「病気はあなたの生活から生まれる」	大阪大学名誉教授 佐古田 三郎	カレッジ部門合同開講式	
		23	社会貢献	第一部生涯学習 第二部オリエンテーション	大阪ボランティア協会 コーディネーター 椋木 美緒	ボランティアの魅力はなんでしょう活動を通して、あなたもできる社会貢献。アイスブレイク（他己紹介）	
		30	近代文学①	日本近代文学史(1) 近代日本文学の生成から確立	関学大名誉教授 細川 正義	黎明記の中から『小説神髓』が登場し近代日本文学が確立した。明治 20 年代の浪漫主義文芸の成立時期までを探る	
	11	6	歴 史	大阪市の歴史と 映画「大大阪観光」	大阪市博物館協会 学芸員 船越幹央	現在の大阪市域の歴史の変遷を述べ、あわせて昭和初期の映画「大大阪観光」を上映し、解説します	
			13	近代文学②	日本近代文学史(2) 近代日本文学の発展	関学大名誉教授 細川 正義	日清戦争後目覚ましく発展する近代文学は、日露戦争後の自然主義の確立へと展開する。明治文学史の意義を探る
		20	古典文学①	平家物語の魅力(1) 序章「祇園精舎」解説	関学大名誉教授 武久 堅	軍記物語の代表「平家物語」の全巻読破を目指してこの講座を立ち上げます。初回は序章と平家登壇	
		27	歴 史	一休さんと大阪、堺	帝塚山学院大名誉教授 森田恭二	とんちで有名な一休さんは大徳寺の高僧で、大阪、堺にゆかりがある。一休さんの人物像と教えを学ぶ	
	12	4	近代文学③	漱石文芸の〈力〉 〈命根〉への問いかけ	関学大名誉教授 細川 正義	漱石文芸の魅力が修善寺の大患後の『彼岸過迄』『行人』『こころ』から探る	
		11	自主企画	研修旅行（日帰り）	アシスタント・ 講座生みんなで	初めての企画委員による旅行計画、文学・歴史科に相應しい企画で仲間と一緒に過ごす楽しみを満喫	
		18	古典文学②	平家物語の魅力(2) 清盛の栄達	関学大名誉教授 武久 堅	今回は清盛全盛期の奔放な所業を語ります。よく知られた「祇王」の物語もその一つです	
	31	1	8	教養 音楽 (合同)	“音楽の都”ウィーン に花咲いた作曲家たち	大阪教育大学教授 中務 晴之	19世紀のウィーンにおける音楽シーンを検証し、その魅力に迫ります
			15	古典文学③	平家物語の魅力(3) 二条帝の艶聞と崩御	関学大名誉教授 武久 堅	物語の時代背景。後白河院政下に発生した、二条帝の強引な求婚事件と、早世した二条帝の葬送の場で発生した寺院間の勢力争いが焦点になります
22			歴 史	和泉陶邑の調の 陶器と律令祭祀	関西福祉科学大学教授 森 明彦	和泉国からは正調以外に陶器が貢調されていた。なぜそれが必要であったのか、国家祭祀との関わりを探る	
29			近代文学④	芥川文芸が問いかけるもの (1) 芸術至上主義と人生	関学大名誉教授 細川 正義	馬琴に自己を重ねて描いた『戯作三昧』から、『地獄変』『奉教人の死』へと展開する芸術の意義を探る	
2		5	歴 史	交易・貿易における 大坂の役割	奈良県立大学教授 野高 宏之	近世の大坂が、日本国内の交易のみならず、長崎貿易においても重要な役割を果たしたことを解説する	
		12	古典文学④	平家物語の魅力(4) 高倉帝の即位	関学大名誉教授 武久 堅	高倉帝の即位にこぎ着け、愈々清盛平家の政界掌握の実現に至ります	
		19	歴 史	近世後期河内の 木綿流通	神戸女子大学教授 今井 修平	日本の衣生活を飛躍的に豊かにした木綿生産の中心地、河内平野における木綿流通の展開を大坂と周辺在郷町との関係に配慮しつつ考察する	
		26	近代文学⑤	芥川文芸が問いかけるもの (2) 〈晩年〉の創作	関学大名誉教授 細川 正義	大正 10 年以降、自己の内面と闘いながらも魅力的な創作を続けた芥川文芸を切支丹物、『河童』『歯車』で探る	
3		5	歴 史	上方芸能の曲がり角	大阪樟蔭女子大学教授 森西真弓	上方芸能は近代以降、新演劇やメディアの登場で対応を求められた。どのように生き延びてきたのかを振り返る	
		12	歴 史	中世木簡（御札） の世界	元大阪大谷大学教授 藤澤 典彦	我々の生活を取り巻く様々な場面で「札」が機能してきた。歴史における「札」の展開について考える	